

知多南部広域環境センターに関する説明会要点録

日時 平成27年8月7日(金) 午後7時00分～午後8時15分

場所 武豊町民会館 響きホール

出席者

副管理者

市町名	氏名
武豊町副町長	各務 正巳

武豊町

武豊町	生活経済部	部長	鬼頭 研次
	環境課	課長	木村 孝士
	都市計画課	課長	山田 晴市
		課長補佐	明壁 直久

事務局

知多南部広域環境組合	事務局長	竹内 宏行
	総務課長	中川 尚之
	事業課長	竹内 久訓
	専門員	浅川 邦治
	担当職員3人	

委託事業者

玉野総合コンサルタント株式会社

参加者

一般参加者 59人

(次 第)

1 開会 【開始 19:00】

(事務局 竹内事業課長)

2 あいさつ

副管理者 武豊町副町長 各務正巳

3 職員紹介

知多南部広域環境組合

副管理者 武豊町副町長 各務正巳

武豊町

生活経済部長 鬼頭研次

環境課長 木村孝士

都市計画課長 山田晴市

知多南部広域環境組合

事務局長 竹内宏行

総務課長 中川尚之

事業課長 竹内久訓

4 知多南部広域環境センターについて

(1) 組合事業の概要(事務局 中川総務課長 資料により説明)

(2) 環境影響評価方法書(業者 出口 資料により説明)

(3) 都市計画の概略の案(業者 出口 資料により説明)

5 質疑応答 (一部抜粋要約)

(質問者1 武豊町男性)

私の住んでいるところは、焼却場と石炭を燃やしている火力発電所と、その他に工場等ありまして、大気汚染が心配なわけですね。ですので、今度できる焼却場が出す、動物が生活する害になる二酸化炭素ですね、これがどういうふうになってくるのか具体的にはまだ出ていないので、私ら直接空気を吸わんならんのですからね、ちょっと近づかなきゃいいではなくて、子供さんから赤ん坊もそうですが、生活している人達の呼吸の関係で影響がどうなってくるのか、具体的にはまだそれが出ていないので心配しておりますので、ぜひ具体的にこうなってくる、こういう時はこうしますよとか、二酸化炭素だけを集めて活用するとか、そういう計画はないのかどうか。二酸化炭素の量がどの程度増えるかということですね。今でも武豊は環境が悪くなってきている。工場が多いものですから煙突が立っている。煙突は排気の上でも、どうしても二酸化炭素を出すわけですね。大いにそういう心配がありますので、どう思っておるのですか。以上です。

(竹内事業課長)

確認をさせていただきます。

今のご質問は、ごみの焼却施設から二酸化炭素がどの程度出るのかといった内容のご質問でよろしかったでしょうか。

(質問者1 武豊町男性)

おおよそ。

(中川総務課長)

組合の総務課長の中川です。

今のご質問、二酸化炭素の排出量というご質問だと思いますが、今ここで数値的なものは明確には回答はできませんが、今度つくります広域ごみ処理施設におきましては、できるだけ二酸化炭素の排出が少なくなるような施設、及びパッカー車等についても、できるだけ二酸化炭素の

排出量が少ない自動車を選定するように心掛けたりだとか、いろいろな施設計画の中で現時点の排出量より減らしていくような方向で設備計画をはかっていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと考えております。

(質問者1 武豊町男性)

数字は分らないのね。

(中川総務課長)

現時点で数字は申し上げることはできません。

(質問者1 武豊町男性)

燃やすものは燃えるごみでしょ。燃えるごみは、木だとか紙だとかビニールだとかプラスチックとかそういうもんですわな。その中にいろんなもんがあると思うんですが、それが持つ、燃焼したら何が出てくるかわかるわけじゃないですか。この前、豊田だったかな、行った時は、うちはやり方がちょっと違っって全てガスにしといて貯めておいて、それでやるから少ないよという話だったけど、出るものは一緒だよな。出ないようにやって欲しいなと思います。最終的には明らかになる数字だもんですから、明らかにしていただかないと心配。住民はみんな心配しとるでね。数字でどういうふうになるか、大気の中にどれだけ出てくるか、それをどう無くすように努力するのか。煙を出さんようにやっっていかなしょうがないと思うがね。それがどんどんどん武豊は集中してできてるので、その辺がすごく心配だなあ。武豊がやられとるみたいだなという感じになるわね。

(竹内事業課長)

私からお答えをさせていただいてよろしいでしょうか。

ごみの焼却施設から出るものというのは、二酸化硫黄だとか二酸化窒素だとかそういったものが出ることは想定しています。今はまだうちが整備するごみ処理施設の詳細が決まっておりません。これから決めていきます。今日は方法書についての説明ということでさせていただいてお

りますが、この前に前段として、環境影響評価の配慮書というのを作成させていただいております。ここの中に現時点で想定しうる県内の他の類似の事例、他の焼却施設、処理施設はどのようになっているかというようなものを参考にして、ごみ処理施設からどんなガスが出るかというのを、シミュレーションした結果が載せてありますが、これはまだシミュレーションです。

その中には数字も載せてございます。シミュレーションの結果の数字です。今後ですね、現地調査を来年1年かけてやっていきます。この環境影響評価の手続きの中で準備書という手続きを行います。準備書の段階では、ある程度施設の整備計画がまとまってきますので、その中では明らかにすることができると考えております。ちなみにですね、配慮書も当組合にもございますので、お申し出いただければご覧いただけるようにしておりますので、見ていただければと思いますが、この中で予測結果というのがあります。ちょっと難しい言葉で寄与濃度という言葉があるんですけども、ごみ処理施設から出る排ガスの濃度のことです。例えば、二酸化硫黄では0.00037ppmですよという数字が載せてあります。これにつきましては、環境基準より遥かに小さな値ですよということが、この中にもお知らせしておりますので、今の段階ではこの数字しかございません。ということでご理解いただきたいと思っております。

(質問者1 武豊町男性)

仮定じゃなくて、想像ではいかんもんですから、今度つくるものがどういうものかをはっきりさせて、具体的にね、住民のみなさんに知らせてほしいなと思っとるんですわ。それじゃないと病気になっとっちゃいかんし、心配で住んどれん。

(竹内事業課長)

今度つくる施設をどのような保全対策をとってやっていくかということも、今後の現地調査、予測評価の中で決めていくことになりますので、ご理解をいただきたいと思っております。ありがとうございます。

(質問者2 武豊町男性)

環境評価書の中でですね、先ほど説明があった土壌地盤のところですね、焼却場のところなんですけど、これ埋立地ですわね。液状化とかそういうようなことも調査はされるんですかね。それと活断層。ホームページ見たんですけど、活断層が近くを走ってますわね。実際この真下ではないんですけど、そういうようなことに対する評価というんですかね、その辺がどういうふうにみられるかということと、先ほど前の方が質問されたようにいろんな環境データが、現状と環境基準に適合しているからOKじゃなくて、現状が何ppmですよ、実際シミュレーションしたら何ppmで現状よりも低いですよ多いですよ、そういう評価がほしいんですわね。国が定める環境基準をクリアしているからOKじゃなくて、やっぱり住民が心配するのは、現状より多いか少ないかどうなっているのかというのが一番心配ですから、その辺のところをはっきりしたやつを特に地元の人に説明ですね、その辺してほしいなと。

もう1点が、お願いなんですけど、現地調査のところを見ると、おおあし児童館ですか、この辺では一番近いんですわね、やられているが、もう2、3点、先ほど言いましたけれども、山起ですか、里中とか大屋敷とかその辺の地域、近くの所でもう2、3点詳細な環境調査というんですかね、特に大気汚染と騒音、そんなところを追加できないかなというのがお願いなんですけど。

(竹内事業課長)

いろいろご質問いただきましてありがとうございます。

まず、液状化につきまして、当然今の事業実施区域というのが埋立地であることは重々承知しておりますので、今後そういった調査も含めて実施していき、安全な施設を建設していきたいと考えております。

活断層については後ほどにさせていただきます、それから予測結果、環境基準に対してご質問があったかと思えます。当然準備書の段階では、こういった施設がこういう排ガスを出す、現況の濃度はこれ、処理場から排出される濃度はこれといったデータはお示しできると考えております。また、環境基準というのは、これを下回ることはもちろんのこと、その基準値につきましても、また地元の方々ともお話をさせていただき

ながら、決めさせていただきたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思ひます。

それから、活断層の件ですが、東大高というところがございます。活断層につきましても、位置については把握をさせていただいております。離れているということで、活断層的の影響はないというような、今現在では判断をさせていただいております。

地点数を増やしてというお話があったと思ひますが、想定しました4地点で、ある程度推計できる部分がありますので、この4地点を代表のポイントとして選定をさせていただいておりますので、ご理解をいただきたいと思ひます。

(質問者2 武豊町男性)

その近辺の住民の方というのは納得されているんですかね。

(竹内事業課長)

調査をするということに対してですか。

(質問者2 武豊町男性)

相当離れていますけれどね、近くの方が一番心配されていますからね。最初の説明では、住居から500mくらい離れているところに焼却場をつくるから安心だというようなお話が前回あったかと思うんですけどね。実際にその近くの所で具体的な数値を示して欲しいなというのをひとつお願いとしてあるんですけどね。

(竹内事業課長)

調査地点を決めた経緯というのが、風向きですね。北西の風だとか南東の風だとか、観測所の風の方向とか強さを加味しまして、その方向的には、それも含めて大気がどのように拡散していくかというシミュレーションした中で、このような4地点を決めさせていただいております。

(質問者2 武豊町男性)

おおあし児童館なんて逆に言えばですね、低地なんですね。下がって

ますわね。地形がね。もっと隣の高いところありますわね、地盤から言ったら。そういうところのほうがもっとあれじゃないですか。

(竹内事務局長)

事務局長の竹内と言います。

委託している玉野の方へも確認しまして、ご要望のとおり地点数をもう一度検討させていただいて、増やすような方向で考えさせていただきますのでよろしく願いいたします。

(質問者2 武豊町男性)

最後のお願いなんですけれども、最終的に報告書が出ると同時にですね、具体的に地点数を決める時に地元の説明会というんですかね、それが一回やったきりで全然ないんですわね。大足の地区の方への説明が確か。ですからその辺のところもっとうこういう広域の説明会ではなくて、本当の地元の地域の人だけの説明会というんですかね、納得いくような説明というんですか、そういうのをもっと具体的にやってほしいというんですかね。その辺をお願いしたいんですけど。

(中川総務課長)

縦覧及び住民説明会でご説明させていただいた中で、このようなご意見をいただいて、今後の調査へ反映していきたいと思っておりましたので、今回貴重なご意見をいただいたということで、再度地元さんにご確認した上で、測定地点を増やすような工夫をして参りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(質問者2 武豊町男性)

広報とか回覧板とかそういうので連絡か何かあるんですかね。武豊町のホームページを見なきゃ分からないようですから。

(中川総務課長)

方法書の方は、縦覧及びインターネットでも公表させていただいてい

るわけなんですけれども、インターネット環境がない方については、各市町の広報においてお知らせをさせていただいたんですが、行き届いておらぬ部分があるかと思いますが、こういう説明会の場で、貴重な意見をいただきましたので、また検討しなおして、調査地点を増やすなり住民の皆様の安心を確保していくという形で進めて行きたいと思っておりますので、よろしくご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

(質問者3 武豊町男性)

今の説明を見ていて1日の処理能力ですか、1日の処理能力が283トンですか。これ1年でどれくらいになるんですか。1年燃やすと。

(竹内事業課長)

約7万6千トンになります。

(質問者3 武豊町男性)

これが耐用年数が30年とするといかほど燃やせますか。

(竹内事業課長)

約220万トンほどになります。

(質問者3 武豊町男性)

ちょっと数字だけでは見当がつかんですけど、そのごみを持って来る車がありますよね、ごみ1台がなんですか、比重というのか、水の重さと一緒に1トンの車で1トン積んで来るけど、燃えるものは比重が軽いからそれだけのものを運ぶ、運んで来る車の数を考えると無限大という感じがしますが、それに対して燃やす車が走る、それに対しての環境負荷というんですか、そのCO₂、PM2.5、この量というのが、現在今燃やしていない時と燃やし始めた時の差というんですか、結構PM2.5というのが、半田市というのが随分高いと聞いて、武豊はPM2.5というのが公表されていないというのか測るところがないというのか、だからそ

のごみを燃やすに対して、CO₂、PM2.5を今どれだけのものを発生しているのかと、それを公表してある程度他の市町と比べてあまりにも高くなった時には、ごみを燃やすのを止めるというのか、減らすというのか、そういうカバーをすることがあっていいんじゃないかと思うんですけど。産業廃棄物、最終処分場の問題なんですけど、あの時にどのくらいダンプカーが1日に来るかと聞いた時に、要するに1信号で1台だと言われたんですね、最大が。最大1信号で1台だと言われたのを、何となくこの間から第二東名の土砂が土曜日に来るんですけど、結構、時計を何となく見たときに、10分で往復40台走ってたんです。初めの話では1信号で1台と、朝8時から5時までの平均で1台と言われたと思うんですけど、これが瞬間的には10分で40台と、ごみを燃やすにも283トンと1日に燃やすと、それを考えた時に283トンというごみの量を何か数字で規制しないと、なし崩しにもっと増えるんじゃないかなと、そんな気がするので質問させていただきますけど、ただみんなに分かるように、今のCO₂はどれだけ出してるのか、PM2.5は今現在どれだけ発生しているのか、それがみんなの目で分かるように。湾岸道路を通ると、只今の気温30度とか29度という表示を見ます。そういう数字で表してほしいなと思いますけど。

(竹内事業課長)

ご意見ありがとうございます。

今のお話の中で日処理量283トンという数字もご紹介させていただきましたが、先ほども少し触れさせていただきましたが、施設整備計画の詳細についてまだ決定されているものがございません。これから決定していくものでございます。今の283トンという数字もですね、現段階で想定している平成29年度の推計値ということで、ご理解いただきたいと考えております。当組合が整備するごみ処理施設は、平成34年4月を供用開始の目標としております。構成市町の2市3町の方でも、ごみ減量化ということで進めておりますので、平成34年の供用開始の日の処理量というのは、もう少し減ってくるんじゃないかと考えております。

それから、現状のCO₂の数字、PM2.5の数字、現状の数字どれくらい

増えるんだというご意見ですが、当然将来的にはそういった数字をお示ししていきたいと思います。ただ、今の段階です、これから現地調査を行って、これから施設整備計画を行っていくということでございますので、その中でそういったものがある程度まとまってきた段階では、皆様方にお知らせすることができるかと考えております。それから、ごみの搬入車、パッカー車の台数等につきましても、ごみ量がどれくらいになるかによって変わってくることもあるかと思いますが、もう一つ当組合の方が考えておりますのが、ごみ処理施設用地が5ha、今計画をさせていただいておりますが、方法書の概要の2ページに図面でお示しさせていただいておりますが、東側の方に施設を配置させて、その前には進入路及び待避所ということでスペースを確保させていただいております。ですから、道路でパッカー車が待つようなことがないように、速やかにごみ処理施設用地へ進入できるように考えて進めていきたいと思っておりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

(竹内事業課長)

よろしかったでしょうか。

その他、ご質問等ございますでしょうか。

よろしかったでしょうか。

それでは質疑応答のほう終了させていただきます。

【終了 20:15】